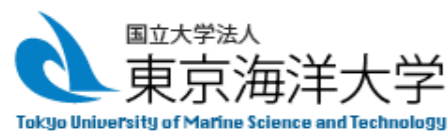


東京海洋大学の機能強化プラン

Enhancing the Functions of
Tokyo University of Marine Science and Technology

－2012～2014－

東京海洋大学の機能強化プランの詳細は、http://www.kaiyodai.ac.jp/info/kinoukyoka_plan.htmlからご覧になれます。



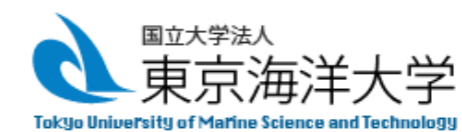
編集・発行 平成24年3月 東京海洋大学総務部企画・評価課

国立大学は、国が財政的に非常に厳しい状況におかれている中で、グローバル社会に対応できる優れた人材の育成と世界をリードする科学技術の創出を求められています。

東京海洋大学が、この厳しい現実を乗り越え、さらに発展し、国民の皆様の付託に応えていくためには、教育、研究、社会貢献、国際交流・貢献において本学のもつ特徴を活かし、その機能を強化することが必要です。

また、この度の東日本大震災の被災地支援については、海洋に関する総合大学としての役割を認識し、大学の知財と人材を積極的に活用して、関係する大学や機関等と連携を図りながら、東北復興の支援を続けてまいります。

この機能強化プランでは、その実現のために、本学が今後3年間に取り組むアクションプランをまとめました。



海洋分野において国際的に活躍する産官学のリーダーを輩出する世界最高水準の卓越した大学

我が国が海洋立国として発展し、国際貢献の一翼を担っていくために、国内唯一の海洋系大学として、「海を知り、守り、利用する」ための教育研究の中心拠点となり、環境、資源、エネルギーを中心に、3領域の複合部分と周辺領域を含めた幅広い研究に取り組む

卓越した教育の実現と人材育成【教育】

実学を重視した実践力を養う教育を行う本学の特徴を活かし、研究者を含む国際的に活躍する高度専門職業人を養成する。

【アクションプラン】

1) 卓越した教育の実現

学部・大学院の一貫した教育研究体制の構築、教育の質の保証と向上の取組、他大学等との連携による教育の推進等

2) 卓越した人材の育成

教養基礎教育、英語教育・国際理解教育、海上技術者教育の充実等



学術研究の強力な推進【研究】

海洋に特化した大学であるという特色を生かして、社会のニーズを踏まえつつ、環境、資源、エネルギーとそれらの周辺領域を核とした海洋分野におけるグローバルな課題に挑戦し、共同研究を推進し、持続的発展が可能な社会の創造に貢献する。

【アクションプラン】

1) 研究の高度化及び活性化の推進

世界をリードする重点研究及び水工連携をはじめとした学際型の研究の組織的推進、選択と集中による資金の重点配分等

2) 若手研究者等の育成及び支援

博士研究員の指導の充実、女性研究者支援の推進、海外長期研修支援の充実等

3) 研究環境の整備

研究施設・設備の共同利用の推進等



東京海洋大学の機能強化

海洋に関わる社会への貢献【社会貢献】

本学の知的資源を、産官学の密接な連携においてより一層有効に活用するとともに、特に、東日本大震災被災地の海洋・水産関連産業等の復興に向けた支援に重点的に取り組む。

【アクションプラン】

1) 東日本大震災被災地の復興支援等

本学の知を活用した三陸沿岸地域を中心とする海洋・水産関連産業の復興支援、放射性物質による海洋環境への影響調査等

2) 地域貢献

地域及び全国水産・海事系都市との連携強化等



国際交流と国際貢献活動の推進【国際交流・貢献】

海洋とその周辺領域の分野における世界最高水準の卓越した教育研究拠点の形成を目指すため、アジア地域における中核的研究拠点を形成するとともに組織的な国際的教育研究ネットワークを構築し、国際貢献活動を推進する。

【アクションプラン】

1) 大学間交流等の国際的連携の推進

日中韓を中心とした教育研究ネットワーク作りの推進、ASEAN諸国を中心とした国際貢献活動の充実

2) 学生・研究者の交流の推進

アジア諸国の大学等との交流の充実、欧米諸国の大学等との連携強化、英語による授業の充実、留学生等の環境整備の推進等



大学運営の効率化・高度化の推進等【管理運営】

上記4つの機能を強力に推進するため、学長のリーダーシップの下、意思決定機能の短縮化、組織及び業務運営等の逐次見直しに取り組む。

【アクションプラン】 1) 組織運営の効率化・高度化 2) 人材の育成 3) 財務基盤の強化